

# 「読むこと」（説明的文章）学習指導案

## 第3学年国語科学習指導案

### 1 単元名 わかりやすさの秘密

「絶滅の意味」（新しい国語3 東京書籍）

### 2 単元について

本教材は、過去の絶滅との比較や具体例を通して、その問題点について考えていく説明文である。「意見、理由、具体例、まとめ」の論の展開が分かりやすく、接続表現や指示語による文のつながりも意識しやすい教材となっている。3年生になり初めての説明文であり、論理的な思考を身につける手段としてだけではなく、作文を書く上での論の展開の方略を学ぶきっかけとしても有効であると考えられる。本単元では、学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の「ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。」を指導事項として指導を行う。指導に際し、段落を正しい順番に並び替える課題を提示し、パズル感覚で学習に取り組む中で、段落相互の関係や接続表現、論の展開に気づかせる。また、課題解決の中で気づいた論の展開の特徴を取り入れて、作文を書くことができるようにしていく。

### 3 単元の目標

- ・文章の中に使われている言葉の意味を理解し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【知識及び技能】
- ・例と主張や事実と意見などの関係や、接続表現などの説明文の特徴を踏まえて、文章全体の論理の展開を捉えることができる。【思考力・判断力・表現力等】
- ・様々な説明文の特徴や文章の構成を理解しようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文章の中に使われている言葉の意味を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	・説明文の特徴を踏まえて文章全体の論理の展開を捉えている。C(1)ア	・様々な説明文の特徴や文章の構成を理解しようとしている。

### 5 単元の学習指導計画（全5時間）

- |                              |         |
|------------------------------|---------|
| (1) 論理的に読むために必要な着眼点を考える（習得）  | 1時間     |
| (2) 本文の並び替えを通して、文の構成を捉える（習得） | 2時間     |
| (3) 二つの文章を比較し、筆者の工夫に気づく（習得）  | 1時間（本時） |
| (4) 学習したことを用いて作文を書く（活用）      | 1時間     |

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・教科書と具体例・反対意見を削ったものを比較することで、主張を強調するための筆者の工夫に気づき、具体例や反対意見があることの効果を理解することができる。

### (2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 前時の学習を振り返る。	・説明文を読むときのポイントについて学んだな。	・説明文を読む時のポイントとなる見方を確認させる。
2 「教科書」と「具体例・反対意見を削ったもの」の二つを音読し読み比べる。	・二つの文章は似ているけれど微妙に足りない部分がある。	
【学習課題】 より「わかりやすい」のはどちらだろう。		
3 両者を比較しながら、理由を考える。	・具体例がない方がすっきりしていて読みやすい。 ・具体例がないと、何を根拠に筆者が主張しているかつかめない。	・「わかりやすい、読みやすい」といった意見を取り上げ、学習課題につなげる。
4 全体で意見を交流する。 (1) それぞれの立場の班で意見交流し、ボードにまとめる。 (2) 全体で意見を確認し、もう一度意見を記述する。	・具体例があることで、筆者の主張を確かなものになっているから具体例は必要だ。 ・反対意見をあえて出すことで自分の意見を正当化しようとしているのではないか。	・「わかりやすさ」の意味を考えさせながら、もう一度自分の意見を記述させる。
5 本時のまとめを行う。	・具体例や反対意見を書く方が意見がわかりやすくなる。 ・今度から自分も気をつけて書いてみよう。	・振り返りを記述させる中で具体例・反対意見が「詳しく理解しやすい」ことに繋がることを確認し、自身の作文の書き方についても考えさせる。

### (3) 評価

- ・主張を強調するための筆者の工夫に気づき、具体例や反対意見があることの効果を理解することができたか。  
(観察、ワークシート)